

令和４年度 市町職員等高度化コース研修業務 委託仕様書

1 委託業務名 令和４年度 市町職員等高度化コース研修業務

2 委託期間 契約締結の日から、令和５年３月３０日（木）まで

3 委託業務概要

（１）研修の目的

令和元年度から、市町等に森林環境譲与税が交付され、その財源を活用して森林経営管理法に基づく森林整備や木材利用及びその促進のための人材育成や普及啓発を進めることとなっている。しかし、担い手となる市町等行政職員は、少数で複数の事務処理を行っているほか、森林・林業・木材利用に係る専門職員も少ないことから、職員のスキルアップが必要不可欠となっている。

そこで、森林・林業・木材利用を担う市町等行政職員を対象に、事務手続きに係る内容のみでなく、基礎や広範囲な知識や技術を含めたセミナーを開講し、市町等の円滑な業務推進を支援する。

（２）目標

- ① 森林・林業・木材利用に関する基礎知識、現状及び課題を理解する。
- ② 市町等が担当する事務に関する知識、手続き及び申請者等の指導内容を理解する。
- ③ 森林環境譲与税を活用した木材利用を理解する。

（３）セミナー概要

- ① セミナー名 木を活かす行政能力向上セミナー
森を活かす行政能力向上セミナー
- ② 開催期間 令和４年９月２９日（木）から令和５年２月２２日（水）のうち１６日間（オンデマンド配信を含まず）
- ③ 開催日 受講生が参加しやすい曜日や時間帯で設定すること。
原則、月３日までの開催として、原則連続開催をさけること。
（「森林情報の活用」を含まず）
- ④ 実施時間 原則、１０時に開始し休憩時間を除く５時間の研修時間とすること。
- ⑤ 開催場所 座学は、交通の便及びインターネット環境が良い場所として、「木を活かす行政能力向上セミナー」は神戸市、「森を活かす行政能力向上セミナー」は姫路市を基本に、場所を確保すること。
森林情報の活用の講座は、県立森林大学校とすること。
森林整備に係る講座は、峰山県有林（神崎郡神河町上小田）とすること。
- ⑥ 受講対象者 県内市町等の森林・林業・木材利用を担う行政職員
地域林政アドバイザーとして活動する意欲のある者
- ⑦ 受講人数 各２０名（オンライン及びオンデマンド配信を含まず）

- ⑧ 受講料 無料
- ⑨ オンライン Z o o m等を活用した双方向ライブ配信とする。
- ⑩ オンデマンド Z o o m又はP o w e r P o i n tの録画機能等を活用し、会場開催日以降1週間までに開始し、4週間配信する。

4 委託業務内容

研修の実施にかかる一切の業務とする

(1) 事前準備

別添「令和4年度木を活かす行政能力向上セミナーカリキュラム(案)」及び「令和4年度森を活かす行政能力向上セミナーカリキュラム(案)」を基本として、必要に応じ開催日時や場所、講師等について受講生が参加しやすいように設定のうえ、発注者と協議し承認を受けること。

- ① 業務計画書の作成
- ② 開催場所(会場)の選定
- ③ 講師の選定

研修目的が達成可能な兵庫県の実態等を理解している講師案を選定すること。
承認後、原則、県の基準(謝金及び旅費)に基づき交渉し、了解を得ること。

- ④ 募集案内資料の作成

募集案内は、木を活かす行政能力向上セミナーカリキュラムと令和4年度森を活かす行政能力向上セミナーカリキュラムを分けた全体チラシと各研修日毎のチラシを概ね研修開始1箇月前を目処に作成のうえ、発注者と協議し承認を受けること。

各研修日のチラシは、受講対象者の参加を促すため、講師のプロフィール及び研修内容等を記載すること。

- ⑤ 受講申込受付

適切な媒体を使って受講者からの申込受付を行うこと。

- ⑥ 講師等との各種調整

研修内容が、研修の目的及び目標に沿った内容となるよう講師と調整すること。
講師の研修会場までの移動等スケジュールを調整すること

- ⑦ アンケート調査

よりよい次期講座につなげるためのアンケート案を作成し、当校に提出して承認を受けること。

(2) 研修時

- ① 研修会場及び機材の確保
- ② 研修に必要な備品、テキスト等の準備及び環境の構築
- ③ オンライン配信の準備及び環境の構築
- ④ オンデマンド配信の準備及び環境の構築
- ⑤ 受講者受付
会場及びオンラインの受講者の受付を行うこと。
- ⑥ 研修資料及びアンケートの配付
- ⑦ 研修の司会進行

- ⑧ 研修中の講師及び受講者のサポート
- ⑨ 現地研修場所への受講者の移動の調整
- ⑩ アンケートの回収

(3) 研修後

- ① アンケートの集計及び分析
- ② 次年度研修計画の検討

アンケート調査及び分析結果から、次年度講座の内容や講義時間、講師の選定等を検討し、次期講座計画案を作成し、当校に提出して承認を受けること。

- ③ 精算

県が決定した学歴や職位に基づく講師謝金等研修に要した経費（人件費、謝金、旅費、印刷費、会場使用料等）の精算を行い、その結果を照査のうえ当校に提出して承認を受けること。

5 成果物

(1) 業務実績報告書の作成

- ① 研修実績

研修に係る資料1式（募集チラシ、次第、名簿、研修資料、研修時の質問回答、記録写真等）と、アンケートの集計及び分析結果、次期研修計画を含む実績報告書（紙媒体2部、電子データ1部）を作成し報告すること。

- ② 収支報告

研修に係った経費（人件費、謝金、旅費、印刷費、会場使用料等）をとりまとめ照査した収支報告書（紙媒体1部、電子データ1部）を作成し報告すること。

6 発注者が行う業務

(1) 募集案内

兵庫県ホームページ上への募集案内の掲載、市町への直接参加依頼は、当校が行う。

(2) 新型コロナウイルス感染拡大による対応について

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令により、通常の講座開催が困難であると判断される場合には、開催の可否や延期等について、受注者と協議を行うものとする。

7 変更契約の対応

(1) 直接人件費

研修実施に伴って変動が予想される業務時間の増減について、発注者及び受注者相互協議のうえ、変更契約等の措置を講ずるものとする。

(2) 受託者旅費・交通費

昨年度契約実績に基づき算出しているため、受託者の拠点等を起点として変更契約等の措置を講ずるものとする。（県基準に係る単価は対象外）

(3) 講師謝金

発注者から承認された講師の変更に伴う謝金単価及び時間の増減について、発注者及び受注者相互協議のうえ、変更契約等の措置を講ずるものとする。

(4) 講師旅費・交通費

発注者から承認された講師の変更に伴う旅費及び交通費の増減について、発注者及び受注者相互協議のうえ、変更契約等の措置を講ずるものとする。(県基準に係る単価は対象外)

(5) 会場費

発注者から承認された会場の変更に伴う使用料の増減について、発注者及び受注者相互協議のうえ、変更契約等の措置を講ずるものとする。

(6) その他

実績に基づき、発注者及び受注者相互協議のうえ、変更契約等の措置を講ずるものとする。

別添

令和４年度 木を活かす行政能力向上セミナー カリキュラム（案）

開催日 (改)	開催時間	場所 (改)	講座 時間	講義科目	内容	想定講師	地域林政 7h以上 必須研修
9月29日(木)	10～16時	神戸	1.0 座学	木材の基礎知識（法令・施策）	公共建築物等木材利用促進法、木材利用方針 兵庫県産木材の利用促進に関する条例、指針 兵庫県産木材利用推進施策	県職員	
			2.0 座学	木材の基礎知識（特性・研究）	木材及び木質材料の特性 木材加工等研究成果	県研究員	
			2.0 座学	木材の基礎知識（加工・流通）	木材・木製品 木材流通・生産サイクル	ひょうご森づくり サポートセンター 建築アドバイザー	
10月7日(金)	10～16時	神戸	1.0 座学	木材の基礎知識（効果）	木材・木造建築物の人への効果 木材・木造建築物の環境への効果 炭素貯蔵量	京都大学教授	
			4.0 座学	建築（企画、木材調達）	他構法とのコスト比較 木材調達 建築事例	ひょうご森づくり サポートセンター 建築アドバイザー	
10月19日(水)	10～16時	神戸	3.0 座学	建築（建築基礎・意匠設計）	流通材の活用 耐久性の向上 意匠設計	ひょうご森づくり サポートセンター 建築アドバイザー	
			2.0 座学	建築（施工・維持管理）	施工管理 維持管理	ひょうご森づくり サポートセンター 建築アドバイザー	
10月28日(金)	10～16時	神戸	2.0 座学	建築（構造設計）	中大規模木造 新たな建築材料の活用	ひょうご森づくり サポートセンター 建築アドバイザー	
			3.0 座学	建築（防火）	建築基準法 防火設計	ひょうご森づくり サポートセンター 建築アドバイザー	
11月2日(水)	10～16時	神戸	1.5 座学	木質バイオマス	木質バイオマス製品 木質バイオマスの活用法	外部講師 (バイオマス団体)	
			1.5 座学	木育	木育の進め方 木育の効果	ひょうご森づくり サポートセンター 木育アドバイザー	
			2.0 座学	木材利用（事例）	市町実施事例紹介、意見交換 ひょうご森づくりサポートセンター支援	ひょうご森づくり サポートセンター	

令和４年度 森を活かす行政能力向上セミナー カリキュラム（案）

11月10日(木)	10～16時	姫路	1.0 座学	森林・林業・木材利用の方向性	森林・林業・木材施策	県職員	
			1.0 座学	豊かな森づくり	新ひょうごの森づくり 災害に強い森づくり	県職員	
			1.0 座学	鳥獣被害対策	鳥獣被害集落ローラー作戦 森林動物研究センター 鳥獣保護管理計画、被害対策	県職員	
			2.0 座学	里山林整備	広葉樹林整備 竹林対策	外部講師 (岐阜県各務原)	
11月18日(金)	10～16時	峰山 県有林	5.0 実習	森林整備	伐採・造林の技術や実務 林業労働安全対策	外部講師 (岐阜県郡上)	●
11月25日(金)	10～16時	姫路	3.0 座学	森林・林業の基礎知識（現状・課題）	森林の現状と課題 林業の現状と課題 森林整備サイクル（間伐、主伐、再造林、下刈、枝打、除伐）	外部講師 (岐阜県郡上)	
			2.0 座学	森林・林業の基礎知識（効果等）	森林の多面的機能 地球温暖化防止（二酸化炭素吸収量） 持続的な開発目標（SDGs）と森林 森林認証	外部講師 (岐阜県郡上)	
12月8日(木)	10～16時	姫路	2.0 座学	森林保全	保安林制度、林地開発許可制度（小規模開発を含む） 森林病害虫、山火事 森林保護	県職員	●
			1.5 座学	山地災害対策	山地災害危険地、山地災害情報協力員、山地防災パトロール 林地荒廃防止施設、地すべり防止施設	県職員	
			1.5 座学	路網整備・作業システム	路網整備の技術や実務 作業システム	県職員	●
12月23日(金)	10～16時	姫路	5.0 座学	森林計画制度	市町村森林整備計画（森づくり構想、ゾーニング） 伐採および伐採後の造林の届出等の制度 森林の土地所有者届出制度 林地台帳の整備・運用	外部講師 (岐阜県飛騨)	●
1月20日(金)	10～16時	姫路	2.0 座学	森林経営計画（実務）	森林経営計画（認定、実行監理、事業体指導）	外部講師 (岐阜県飛騨)	●
			3.0 座学・ 演習	森林経営計画（基礎）	境界明確化 地業集約化 森林経営計画の作成	外部講師 (岐阜県飛騨)	●
2月1日(水)	10～16時	大学校	5.0 座学・ 演習	森林情報の活用（基礎）	QGIS（導入・基本操作）	ひょうご森づくり サポートセンター	●
2月2日(木)	10～16時	大学校	5.0 座学・ 演習	森林情報の活用（実務）	ポリゴン等データ作成・活用	ひょうご森づくり サポートセンター	●
2月3日(金)	10～16時	大学校	5.0 座学・ 演習	森林情報の活用（活用）	外部機器やデータ等との連携（GNSS、ドローン等） レーザー測量データの活用 林地台帳の整備・運用	ひょうご森づくり サポートセンター	●
2月16日(木)	10～16時	姫路	2.0 座学	森林経営管理制度（基礎）	森林経営管理法 森林環境課与税	外部講師 (岐阜県飛騨)	●
			3.0 座学	森林経営管理制度（実務）	森林管理意向調査 経営管理権集計計画、経営管理実施権配分計画 共有者不確知森林制度、共有者不明森林・所有者不明森林への対応	外部講師 (岐阜県飛騨)	●
2月22日(水)	10～16時	姫路	2.0 座学	森林経営管理制度（事例）	市町実施事例紹介、意見交換 ひょうご森づくりサポートセンター支援 地域林政アドバイザー、森林総合監理士	ひょうご森づくり サポートセンター	
			2.0 座学・ 演習	森林経営管理制度（積算）	森林経営管理事業の積算 仕様書	ひょうご森づくり サポートセンター	
			1.0 座学	森林・林業の基礎知識（脱炭素）	J-クレジット制度	ひょうご森づくり サポートセンター	
16 日間			80.0h				38.5h>16h

5.0h h/d